

(4) 上記（「(1)～(3)」）以外の特長ある取り組みの概要

①教育力向上の取り組みの概要

- ・「学生による授業改善アンケート」導入（1994年度）
- ・「学生による授業評価」結果を教職員に公表し、情報共有（2001年度）
- ・「全学的一斉授業公開（オープンクラスウィーク）制度」導入（2003年度）
- ・FD・SD研修会の継続実施
- ・FD・SDの推進
- ・学生カルテ、学生ポートフォリオの構築・研究
- ・学生アンケートの実施と分析
- ・教育指導法の開発・改善に関する調査研究
- ・研究会、講習会、講演会、公開講座などの開催
- ・研究成果の刊行
- ・学生の学習相談
- ・オフィスアワーや学習の場所の提供に関すること

②国際交流の概要

<海外留学制度>

- ・交換留学制度
2018年度 本学から派遣人数：0名・本学受け入れ人数：24名（中国：9名 台湾：10名 韓国：2名 ベトナム：3名）
- ・認定留学制度
2018年度 本学から派遣人数：6名（アメリカ1名・ニュージーランド2名・中国2名・ベトナム1名）

<海外語学研修>

- ・夏季、春季を利用した研修プログラムで、各国の大学の寮やホストファミリーの家に宿泊しながら、語学プログラムを受講。期間は3週間程度。研修実施国（地域）はアメリカ合衆国
日程：2018年8月24日～9月14日
参加状況：8名

<オフキャンパス研修>

- ・開発途上国における開発課題ならびに日本や先進国がどのような開発援助を行ってきたかについて学ぶプログラム。研修実施国（地域）はベトナム。
日程：2018年9月5日～12日
参加状況：22名

<異文化理解>

- ・1年次夏季を利用して、現地での交流体験を実施。期間は3日程度。研修実施国（地域）は香港。
日程：2018年9月5日～7日
参加状況：21名

<海外の提携校>

- ・台湾…国立高雄科技大学、南台科技大学、中国科技大学
- ・韓国…東亜大学校、中央大学校、東明大学校、明知大学校
- ・中国…南開大学、東北財経大学、大連海事大学、復旦大学経済学院、蘇州大学応用技術学院、
南京大学外国部、四川外国語大学、天津商業大学
- ・ベトナム…貿易大学、ホーチミン市師範大学、タンロン大学
- ・カンボジア…タヤマビジネススクール
- ・タイ…カセサート大学、ブラパー大学
- ・ニュージーランド…ワイカト大学
- ・アメリカ…ポートランド州立大学、セントラルワシントン大学
- ・フィンランド…バーサ大学

<留学生支援課>

- ・留学生が日本で学生生活を送るためには、日本の法律を遵守すると共に、一人一人の人生や目標を大学側とよく話し合い、相談しながら「なりたい自分」に向って進んで行く必要がある。特に留学生に関係する法律や入国関係の知識を持ち、留学生に寄り添って各自の目標を達成するための各種支援をするために留学生支援課が設置されている。

③社会や企業と連携した社会共創活動の概要

<活動実績（2018年度）>

・第2回神戸学生イノベーターズ・グランプリ（I-1グランプリ）

概要：大正製薬株式会社の協力のもと「ドリンク剤の若年層ユーザーの拡大」をメインテーマに実施。本学からは27チームが参加。市場調査やアンケート調査に基づいたユニークで知恵を絞った提案が行われた。Zwei（清水ゼミ4年生）が総合優勝・表現賞のダブル受賞。

連携先：大正製薬株式会社

日程：2018年9月～12月

参加状況：2大学（本学・兵庫県立大学）2高校（神戸商業高校・明石商業高校）、33チーム・160名

・淡路仁井地区社会貢献事業（プロジェクトN）

概要：淡路島仁井地区の地域活性化を促進するプロジェクト。廃校となった小学校を使用し、学生主催の夏イベント「仁井まつり」企画・運営、地元住民主催の冬イベント「冬のふるさと文化祭」のサポート、及び「淡路島 関係人口を作る」をテーマに「淡路しまコトアカデミー」講座（講義・仁井地区でのインターンシップ）を開講し、地元の人々との交流を深めながら、仁井地区のまちおこしに取り組んだ。

連携先：淡路市仁井地区連合会、日本グローバルアカデミー、淡路市役所商工観光課、淡路島観光協会

日程：2018年4月～2019年3月

参加状況：44名（学生有志1～3年生）

・奈良県吉野町に関するプロジェクト

1.吉野町での地域活性化プロジェクト

概要：高齢化の進む限界集落（奈良県吉野町山口地区）にて、人と人とのつながりを創造するカフェを開く地域活性化プロジェクト。学生自らがカフェの店内装飾、商品提案、価格設定、当日までのプロモーションを行い、2日間限定で2店舗（「ほのボーノ Café」・「SUN 奇楼 Cafe」）を運営した。

日程：2018年4月～9月

参加状況：17名（柏木ゼミ3年生）

2.吉野町地域交流支援プログラム

概要：観光客と地域住民との交流の場を提案することを目的に、学生が企画した「森林セラピー&食べ歩き」をコンセプトとして、神戸と吉野を「VUI」でつなぐ「VUI VUI Café」と古民家での「VUI VUI はなれ 情報交換・交流サロン」を地域住民とともに実施。

日程：2018年4月～2019年1月

参加状況：13名（森藤ゼミ3年生）

3.吉野町山口コミュニティデザインプロジェクト

概要：地域住民が地域活性化に主体的に取り組むことを支援するために、コミュニティデザインのワークショップを企画・運営し、崩壊した地域住民のコミュニティの再生を促進した。

日程：2018年9月～2019年1月

参加状況：13名（森藤ゼミ2年生）

連携先：吉野ビジターズビューロー

・稲美町活性化プロジェクト

概要：稲美町が持つ魅力ある資源を活用し、稲美町への移住促進を目的とした活動に取り組み、農業体験を含めたイベント提案・運営、及び稲美町住民に対する認識調査を実施。

連携先：兵庫県加古郡稲美町

日程：2018年4月～2019年3月

参加状況：15名（森藤ゼミ2～3年生）

・ウェディングケーキコンテスト

概要：ブライダル産業を学ぶ大学生がケーキのデザインを競うコンテスト。本学開講科目『ブライダルコーディネート論Ⅱ』の受講生19名が参加。人間社会学部観光学科の学生（2年生）が3位入賞。

連携先：株式会社レーブドゥシェフ

日程：2018年4月～7月

参加状況：19名（『ブライダルコーディネート論Ⅱ』受講生2～4年生）

- ・M ラボ「課題解決ラボ」

概要：神戸新聞社と兵庫県下中小企業の主催による企業と大学生のマッチングを目指す中核事業で、企業が抱える課題を大学ゼミと企業の若手社員や担当者が協力して調査研究するプロジェクト。本学からは上田義朗ゼミが参加。マッチングが成立した株式会社ナンバーズリーの担当者とともに「アジア諸国における美容サロンの実態調査」をテーマにインバウンド客の拡大に向けた提案を実施。

連携先：神戸新聞社、兵庫県中小企業団体中央会

日程：2018年5月～10月

参加状況：12名（上田義朗ゼミ 2～3年生）
- ・大学生が企画・案内する「ひょうごのまち歩き」

概要：ツーリズムひょうご学官連携協議会企画として4大学（本学・神戸海星女子学院大学・神戸国際大学・神戸山手大学）が独自のまち歩き8コース（本学は4コース）を企画・設定し学生が現地観光ガイドを務めた。

連携先：兵庫県観光振興課

日程：2018年5月～12月

参加状況：4チーム（井上芳郎ゼミ 3年生・秦ゼミ 3年生）・参加者総数22名
- ・ユニバーシティ・カレッジ・南九州

概要：南九州3県での体験実習を通じて発見した各エリアの魅力をfacebookで情報発信するとともに、中高生に向けた修学旅行プランを提案するプロジェクト。本学からは羽藤ゼミが参加。「スポーツランドみやざきを満喫！」をテーマに、因子分析、クラスター分析などのマーケティング手法を使用し、宮崎県の観光素材の新たな魅力を発見し、旅行プランの提案を実施。

連携先：西日本旅客鉄道株式会社

日程：2018年5月～2019年3月

参加状況：9名（羽藤ゼミ 3年生）
- ・神戸農水産物商品化プレゼンテーション大会「KOBEにさんがろく PROJECT」

概要：神戸産の農水産物を利用した商品化に取り組むプロジェクト。本学からは後藤ゼミが参加。9月開催のプレゼン大会で、日本酒に苦手意識のある20代前半の女性をターゲットとしてスイーツ感覚で日本酒が飲める『甘味酒（かんみざけ）』を提案し、株式会社神戸酒心館、ハートスフードクリエイツ株式会社とマッチングが成立。1月開催の成果発表会において、「日本酒の美味しさを発見できるデザート」をテーマに日本酒と神戸産フルーツのジュレに日本酒をふりかけて味わうスイーツを提案し、グランプリを受賞。

商品名：神戸の美味しさキラッとブーケジュレ

連携先：神戸市経済観光局農政部農水産課

日程：2018年6月～2019年3月

参加状況：2名（後藤ゼミ 3年生）
- ・スポーツ産業コンペティション2018ー国際スポーツイベントの神戸開催の成功に向けてー

概要：ラグビーワールドカップ神戸大会の機運醸成を図るための企画コンペティション。本学からは山口ゼミ・辻本千春ゼミが参加。「国際スポーツイベント×神戸×ビジネス」をメインテーマに神戸のスポーツツーリズムを活性化するシステムやビジネスを提案。

連携先：神戸商工会議所

日程：2018年8月～2019年2月

参加状況：4チーム（山口ゼミ 3年生・辻本千春ゼミ 2年生）・参加者総数25名
- ・ひがしなだスイーツ・酒蔵巡りバス事業イベント参加者調査

概要：東灘区を走る「スイーツめぐりバス」と灘区を中心とする「酒蔵探訪バス」の2つのルートの車内で参加者アンケート調査、分析を実施。また、現地調査をもとにパンフレットにおけるマップの改善案の提案、及び新たなパンフレット作成の提案を実施。

連携先：みなと観光バス株式会社

日程：2018年10月～2019年3月

参加状況：40名（池田ゼミ 2～4年生）

- ・大学生が考える IR 提案・研究発表会 ー大阪にふさわしい IR とはー

概要：IR がもたらす効果やふさわしい IR 施設等をテーマとして 5 大学（本学・大阪観光大学・大阪経済大学・阪南大学・立命館大学）が参加し企画提案する発表会。本学からは辻本千春ゼミが参加。「日本的なイメージを保ちながらタイムスリップした世界へ」をテーマに、日本独自の魅力を楽しめる「過去」「現代」と、最先端技術を駆使した「未来」の三種類のゾーンを軸にした提案を実施。

連携先：大阪府・大阪市 IR 推進局

日程：2018 年 11 月～2019 年 2 月

参加状況：13 名（辻本千春ゼミ 2 年生）

④地域交流・連携 活動一覧（2018 年度）

- ・トライやる・ウィーク（中学生職業体験企画）

概要：近隣の中学生に 5 日間（9:00～15:30）、流通科学大学内の様々な職業を体験していただいた。

日程：2018 年 11 月 5 日（月）～9 日（金）

参加中学校：桜ヶ丘中学校（2 名）・太山寺中学校（2 名）・平野中学校（2 名）

- ・学園夏祭り

概要：学園西町連合自治会の『学園こども夏まつり』が学園都市駅前のユニバードームで開催され、本学の文化会が企画・運営に携わり、文化系クラブの学生を中心に約 100 名が子ども向けゲームコーナーや露店などを出店。吹奏楽団と和太鼓部はステージプログラムに出演し演奏を行い、会場には子どもからお年寄りまで多くの地域の方々が来場した。

参加団体：文化会、学生会、児童ボランティア部 ALL-IN、社会イベント隊ランニングボランティア部、電脳部マスターシステム、現代視覚文化研究会、ESS、写真部、吹奏楽団、和太鼓部（計 10 団体）

連携先：学園西町連合自治会、UNITY 加盟大学

日程：2018 年 8 月 5 日（日）